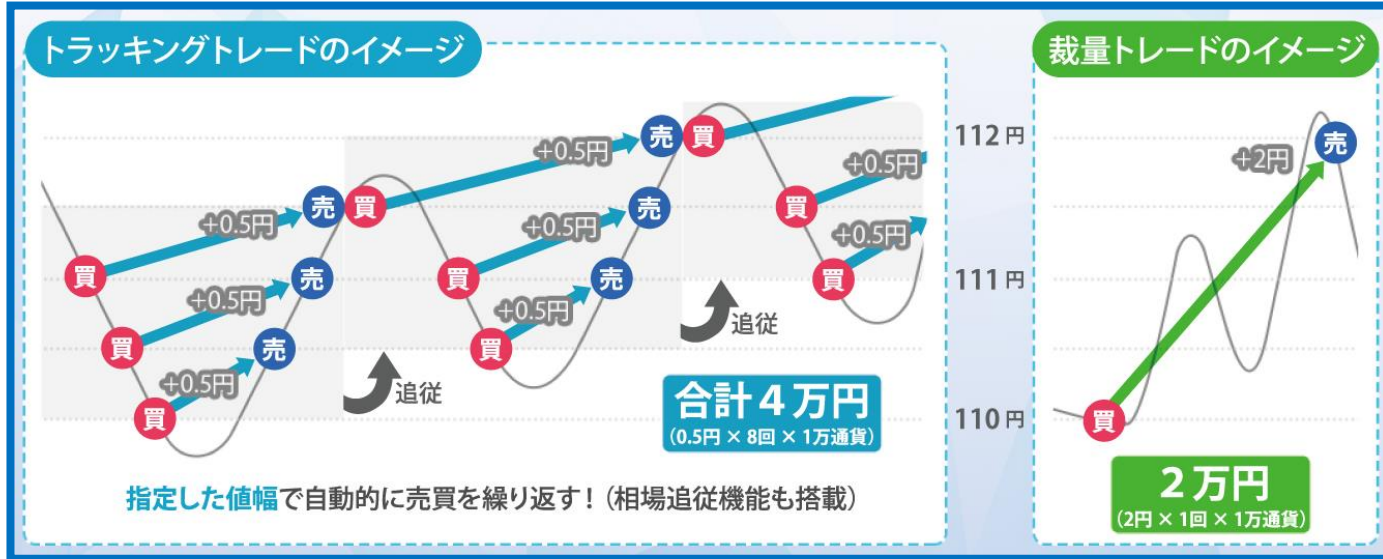


# トラッキングトレード基礎・実践編



熟練トレーダーがトラッキングトレードを運用し、  
資金**30万円**を3カ月間で  
どれだけ**利益**が出せるか真剣勝負中  
1位のトレーダーは  
なんと！1年9カ月で

**資金が2倍に！**



詳細はこちら

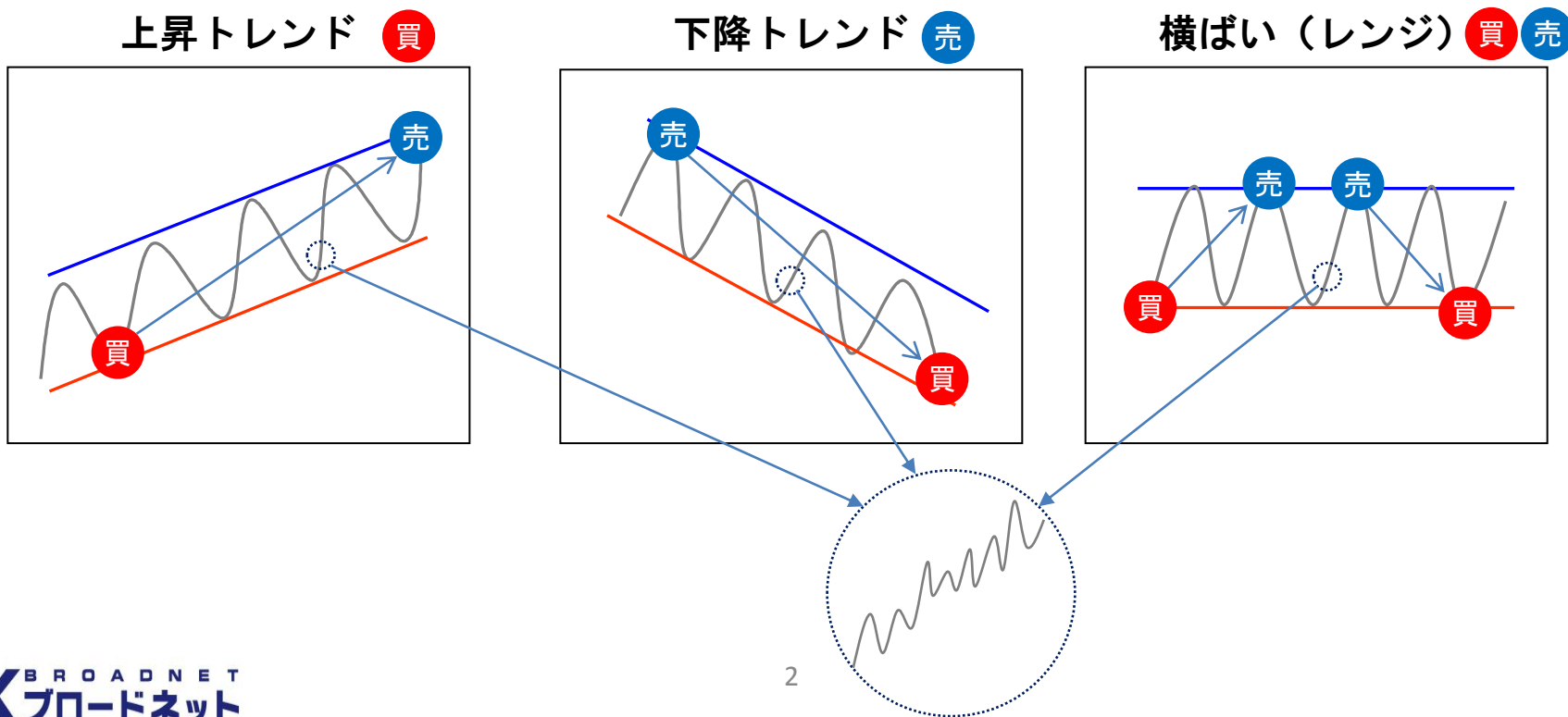
# 目次

## 基礎・実践編

1. 為替相場の特徴
2. トラッキングトレードとは？
3. トラッキングトレードの有効性
4. トラッキングトレードのNG
5. トラッキングトレード設定のコツ
6. トラッキングトレード設定手順
7. リスクについて
8. 対象資産の決め方
9. 実践編

# 1. 為替相場の特徴

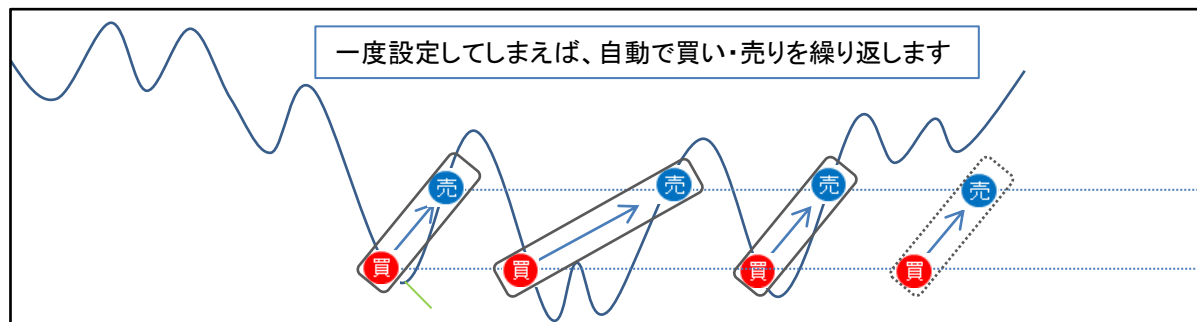
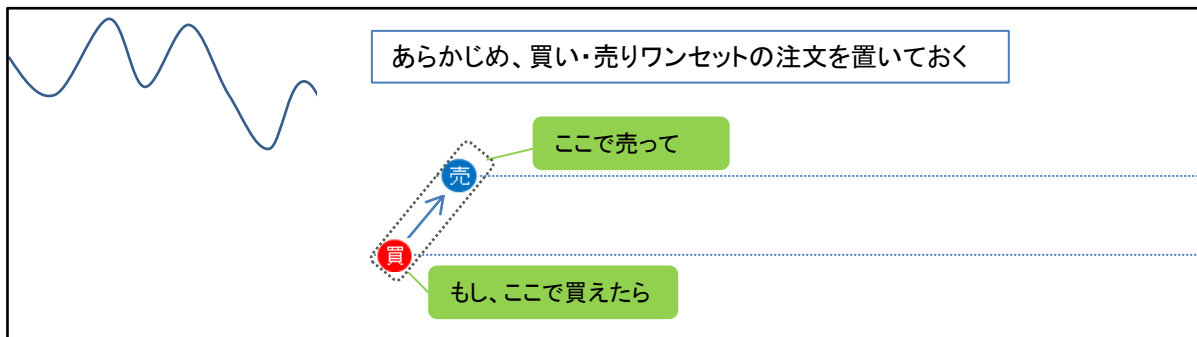
- ・24時間取引が可能です。
- ・為替相場は上げ下げを繰り返して変動する性質があります。
- ・価格はトレンド(傾向)を形成する特徴があり、  
トレンドは、上昇トレンド、下降トレンド、横ばい(レンジ)の3つに分けられます。
- ・トレンドは、明確な転換シグナルがあるまでは、継続する特性があります。





## 2. トラッキングトレードとは？

- ・あらかじめ、買う値段と売る値段を決めておき、その価格になったら買い、売るという注文を自動的に繰り返す注文方法(リピート系注文)です。

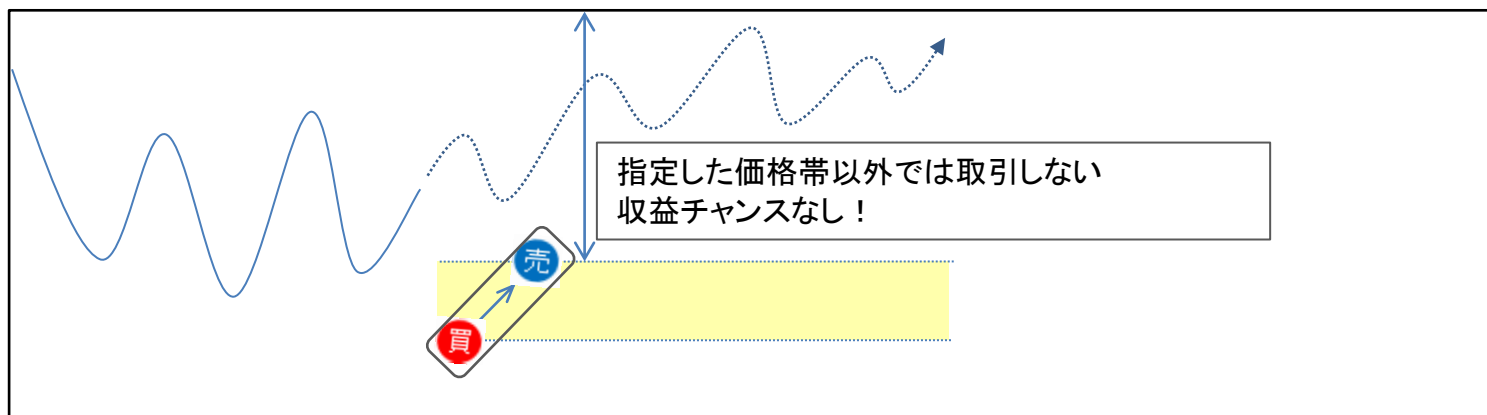
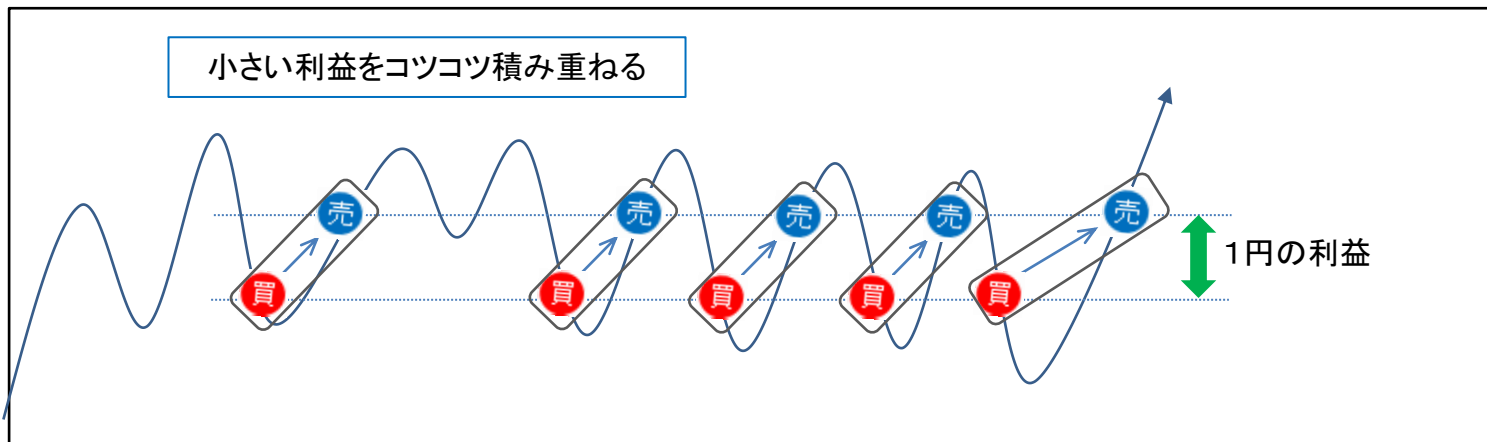


### トラッキングトレードのメリット

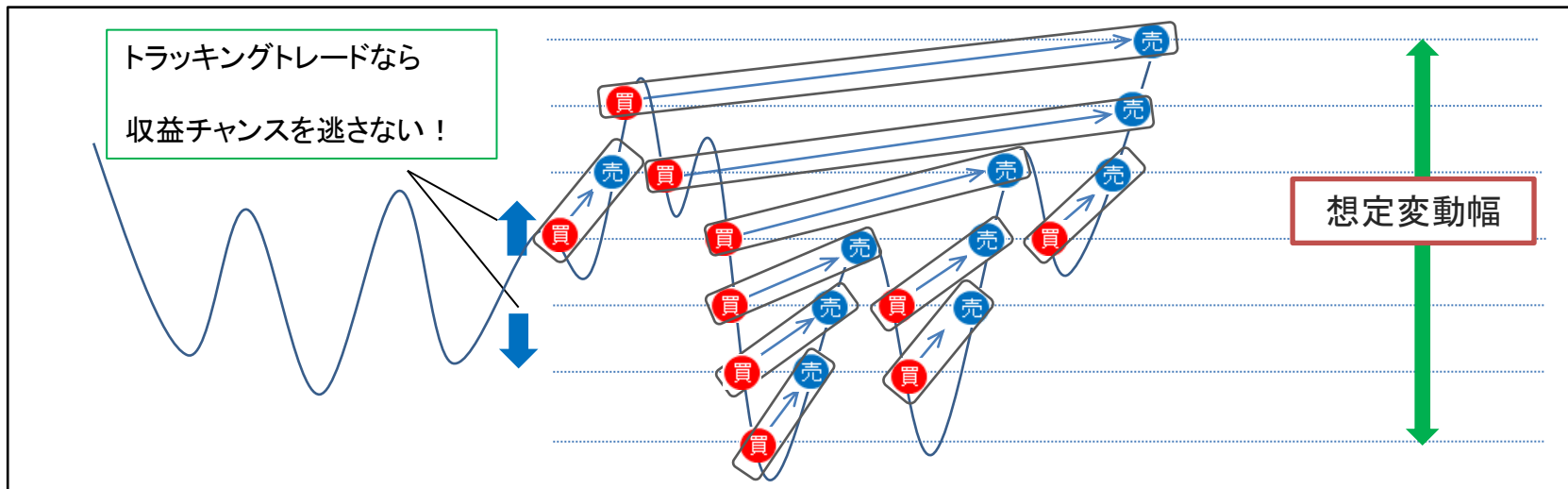
- ・設定したルールに従って、システムが24時間、自動で取引してくれるので、チャンスを逃さない！
- ・どんなに相場が乱高下しても感情に流されず、迷わない！
- ・24時間監視する必要がないので、生活リズムが崩れない

## 2. トラッキングトレードとは？

リピート型注文の場合



## 2. トラッキングトレードとは？

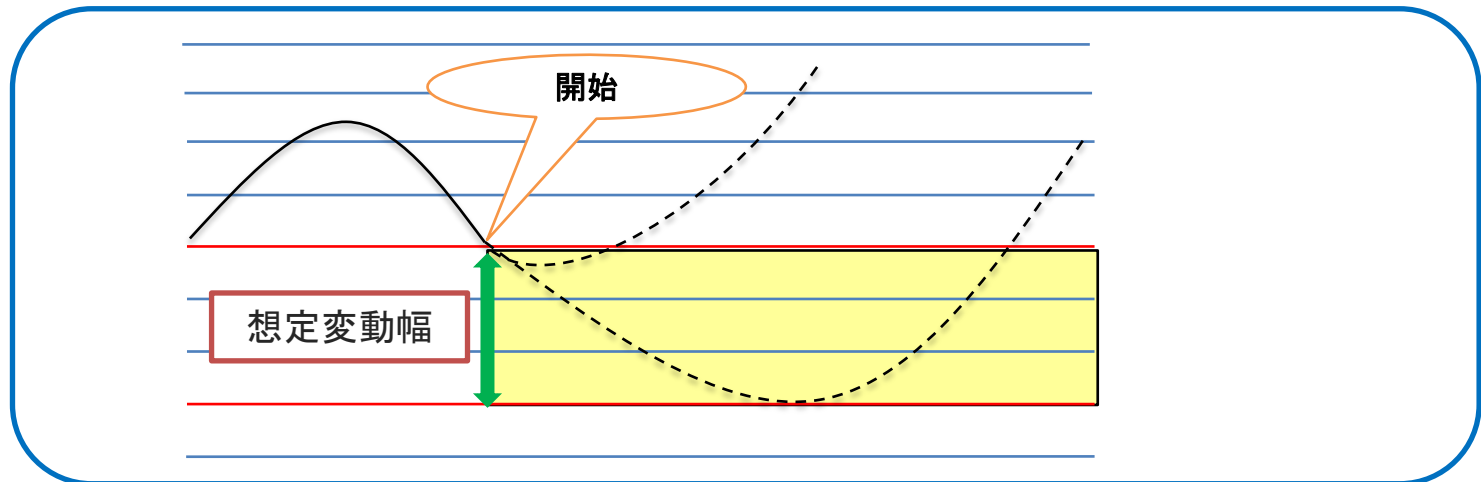


## 2. トラッキングトレードとは？

### ・トラッキングトレードの設定方法

- ① 通貨ペアを決める
- ② 過去の高値・安値を元に、「**想定変動幅(発注範囲)**」を決める
- ③ 「**対象資産**」を決める。
- ④ 「買い」「売り」を決める。

自動的に**ポジション間隔**と**最大ポジション数**が計算され、新規注文と決済注文が決定されます。



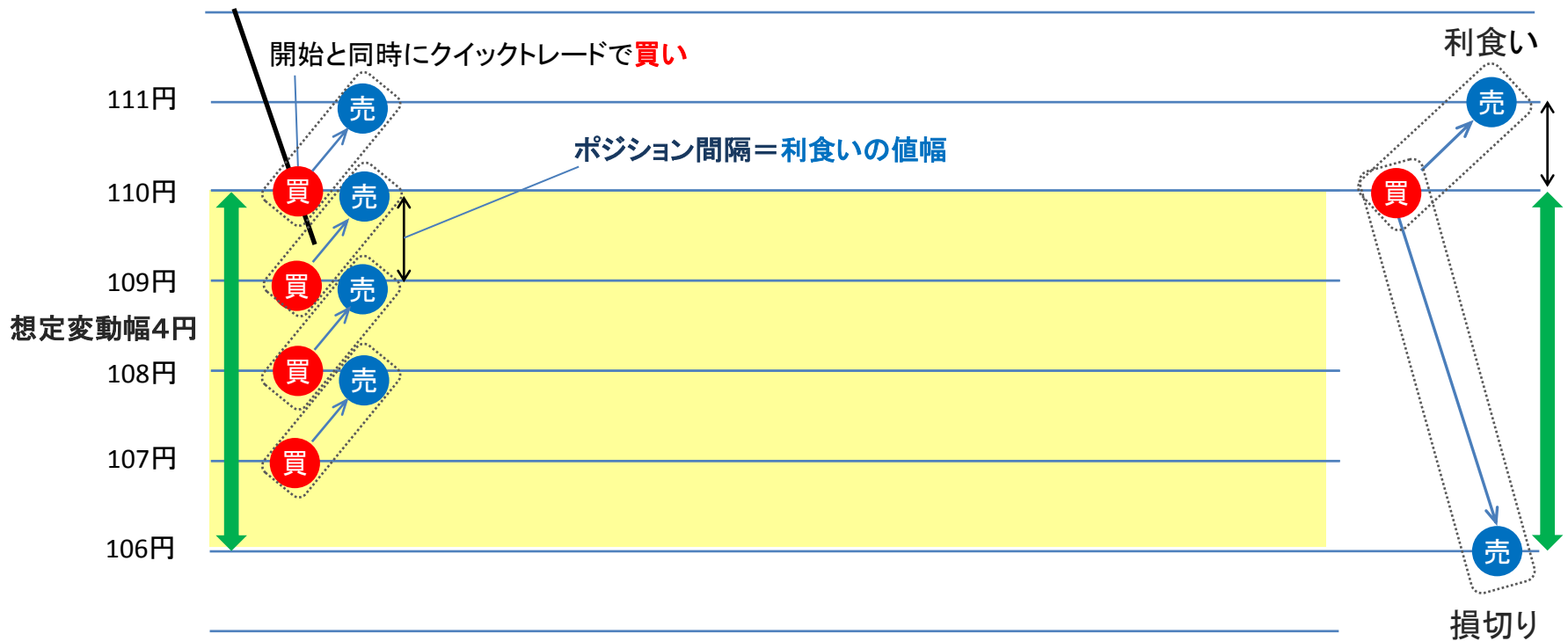
- ・**想定変動幅**とは、発注範囲のことです。
- ・**対象資産**とは、トラッキングトレードに利用する投資資金をいいます。



## 2. トッキングトレードとは？

開始後、下がった場合（為替レートが損失の方向に動いた場合）

- ①ドル/円 買い設定の場合（現在レート:110円）      コース:ブロード25Sライト(1Lot=1000通貨)  
②想定変動幅:4円(400pips)      ③対象資産:30,000円      ポジション間隔:1円(100pips)      最大ポジション数:4



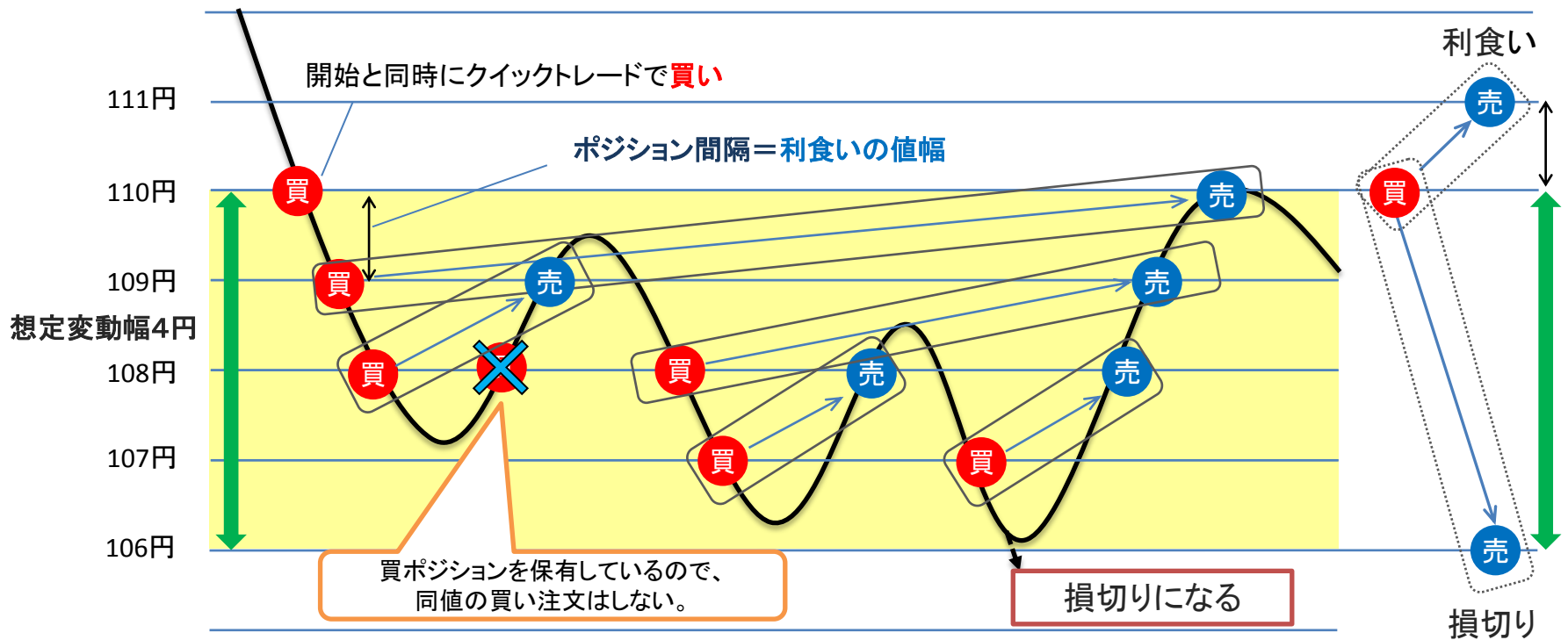
・ポジション間隔=利食いの値幅

・想定変動幅=損切りの値幅

## 2. トラッキングトレードとは？

開始後、下がった場合（為替レートが損失の方向に動いた場合）

- ①ドル/円 買い設定の場合（現在レート:110円）      コース:ブロード25Sライト(1Lot=1000通貨)  
②想定変動幅:4円(400pips)      ③対象資産:30,000円      ポジション間隔:1円(100pips)      最大ポジション数:4



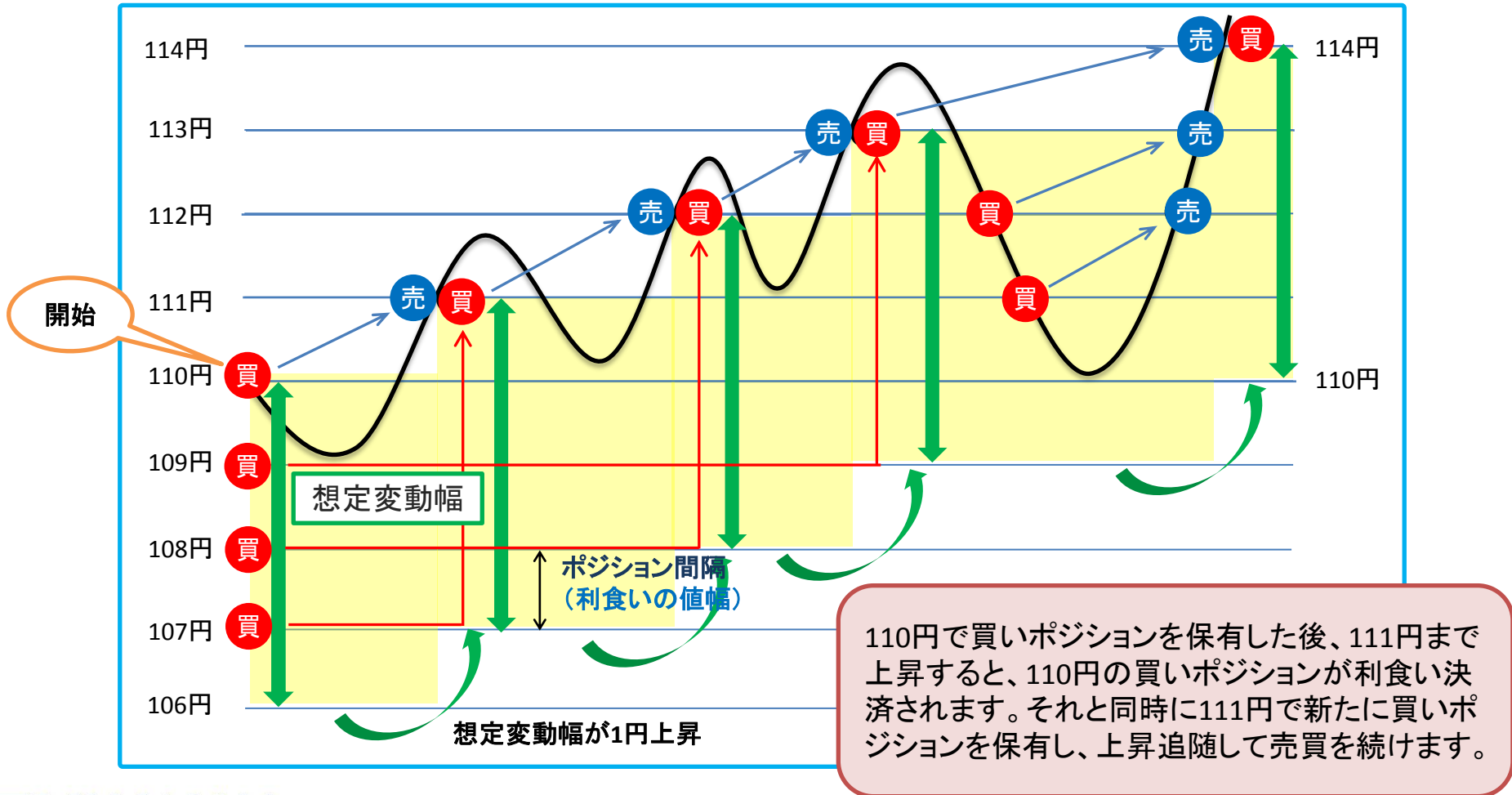
・ ポジション間隔 = 利食いの値幅

・ 想定変動幅 = 損切りの値幅

## 2. トラッキングトレードって何？

開始後、上がった場合（為替レートが利益の方向に動いた場合）

・他社のリピート系注文にはない相場追従（トラッキング）機能



110円で買いポジションを保有した後、111円まで上昇すると、110円の買いポジションが利食い決済されます。それと同時に111円で新たに買いポジションを保有し、上昇追従して売買を続けます。

## 2. トラッキングトレードとは？

- ・「**想定変動幅**」と「**対象資産**」の数値で  
**ポジション間隔**と**最大ポジション数**に決まる



対象資産が**少ない**場合

想定変動が**広い**場合



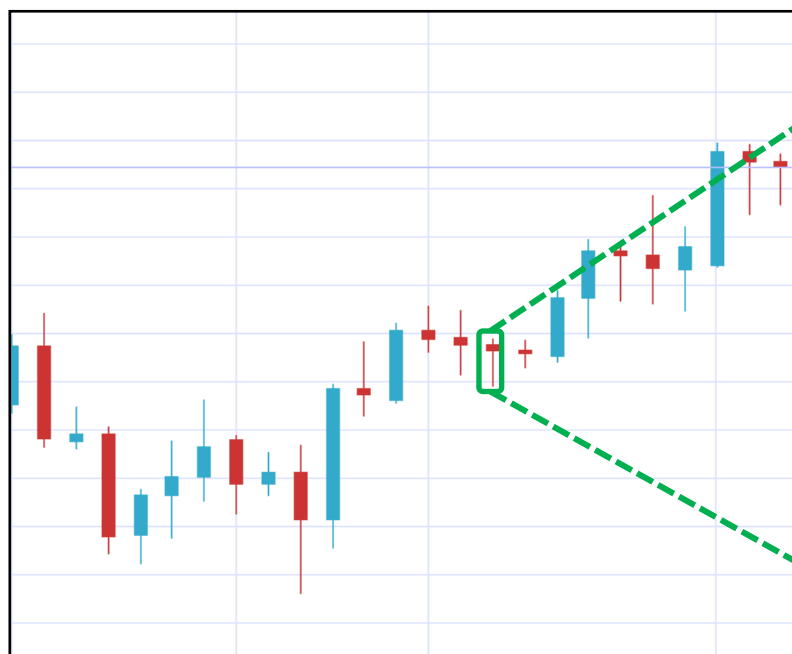
対象資産が**多い**場合

想定変動が**狭い**場合

### 3.トラッキングトレードの有効性

・トラッキングトレードを使用する最大のメリットは？

相場の小さな揺らぎを利益にできるところ



日足



1時間足

### 3.トラッキングトレードの有効性

#### ・レンジ相場はチャンスに!



相場の動きの多くの時間は、ある一定の幅のなかで上下動するレンジ相場。  
トラッキングトレードを利用すれば、何度も新規注文と利食いの注文を繰り返すことができます。  
レンジ相場はまさにトラッキングトレード向きの相場です。

このようにトレンド相場であってもレンジ相場であっても、適切な設定を行えばトラッキングトレードはコンスタントに利益を積み上げていくことが可能となります。

## 4.トラッキングトレードのNG

### ・トラッキングトレードでやってはいけない設定

トレンドと逆の設定を継続することNG



## 5.トラッキングトレード設定のコツ

- ・コツ1. **損切りにならない想定変動幅**に設定する
- ・コツ2. 注文間隔を狭くする
- ・コツ3. 設定時に想定したレンジ内で動いている場合はトラッキングトレードは廻し続ける
- ・コツ4. **1日2～3回程度、想定したレンジ内で推移しているか**  
**チェックし、見直しを行う必要があるかを**決める
- ・コツ5. **停止するタイミングが重要！**  
想定変動幅の上限・下限付近に達したら、  
停止するか継続するかの判断が重要！



## 6.トラッキングトレード設定手順

### 1.通貨ペアの設定

見慣れた通貨ペアを選ぶのがいいでしょう。

### 2.ポジション方向(買いor売り)の決定

日足チャートを確認し、過去の最高値や最安値、トレンドライン、移動平均などから大まかで良いので当面のレンジを想定します。

相場の方向が、上昇トレンドか下降トレンドかレンジ(もち合い)か考え、それに適した設定(買い・売り)を決めるといいでしょう。

### 3.想定変動幅の決定

運用期間に合わせて、その期間の高値と安値の差を計算し、その値に10~30pipプラスして想定変動幅を決めます。

たとえば、買い設定で現在111円、想定レンジの下限を108円と予想するのであれば、想定変動幅は3円(300pips)以上設定となります。

### 4.対象資産の決定

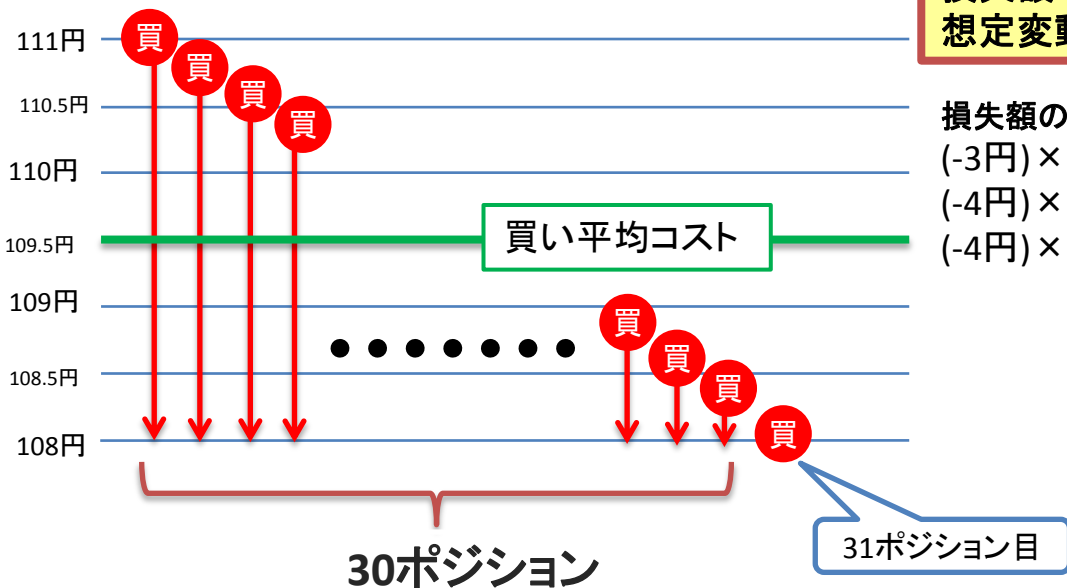
余裕資金で設定するといいでしょう。

# 7.リスクについて

## 想定変動幅とポジション数と損失の関係

トラッキングトレードを成功させるためには、リスクを把握することが重要です。  
利益を増やすには、ポジション間隔を狭くして、利食い回数を増やす必要があります。  
しかし、**ポジション間隔を狭くすると、相場が逆方向に動いた場合に保有ポジションが増え、想定変動幅を超えると損切りになり、損失額が大きくなります。**  
開始する前に、損失額を把握し、無理のない設定になるように確認しましょう！！  
損失額を把握するための計算方法は以下のとおりです。

想定変動幅3円(300pips)	対象資産30万円	最大ポジション数30	ポジション間隔10pips	損失額	4万6500円
想定変動幅4円(400pips)	対象資産30万円	最大ポジション数40	ポジション間隔10pips	損失額	8万2000円
想定変動幅4円(400pips)	対象資産10万円	最大ポジション数15	ポジション間隔26.6pips	損失額	3万2000円



### 損失額の求め方

$$\text{想定変動幅} \times (\text{最大ポジション数} + 1) \times 1000 \text{通貨} \div 2$$

### 損失額の求め方

$$(-3\text{円}) \times (30+1)\text{ポジション} \times 1000\text{通貨} \div 2 = -4\text{万}6500\text{円}$$

$$(-4\text{円}) \times (40+1)\text{ポジション} \times 1000\text{通貨} \div 2 = -8\text{万}2000\text{円}$$

$$(-4\text{円}) \times (15+1)\text{ポジション} \times 1000\text{通貨} \div 2 = -3\text{万}2000\text{円}$$

## 8.対象資産の決め方

### 対象資産の決め方

まずは、リスク管理上ポジション数をどう決定すればいいでしょうか？

ここでは、裁量トレードでよく使われるリスク管理の手法を適用します。

それは、一つのトレードでの**損失上限を投資資産の10%程度に押さえる**というものです。

つまり、口座資産が30万円ならば、1トレードでの最大許容損失は3万円となります。

ただし、トラッキングトレードの場合は、相場の逆行の際にも上下動を繰り返し実現益が見込めることから、**一つのトラッキングトレードでの最大損失を20%を目安**とし、今回の例では6万円となります。

6万円の損失を考えた場合の、目安は以下となります。

想定変動幅3円(300pips) 対象資産18万円 ポジション間隔10pips 30ポジション 損失額4.65万円  
→(-3円) × (30+1)ポジション × 1000通貨 ÷ 2 = -4.65万円

想定変動幅4円(400pips) 対象資産20万円 ポジション間隔13.3pips 30ポジション 損失額6.2万円  
→(-4円) × (30+1)ポジション × 1000通貨 ÷ 2 = -6.2万円

想定変動幅5円(500pips) 対象資産18万円 ポジション間隔20.8pips 24ポジション 損失額6.25万円  
→(-5円) × (24+1)ポジション × 1000通貨 ÷ 2 = -6.25万円

以上の目安を参考に、「対象資産」を決め、設定を行います。

なお、別紙資金目安表もご参照ください



# 米ドル/円 資金目安表

ポジション間隔	項目	想定変動幅					
		200pip	300pip	500pip	1,000pip	2,000pip	3,000pip
10pip	ポジション数	20	30	50	100	200	300
	必要資産	111,000円	182,000円	353,000円	955,000円	2,910,000円	5,827,000円
15pip	ポジション数	13	20	33	66	133	200
	必要資産	73,000円	122,000円	234,000円	633,000円	1,939,000円	3,915,000円
20pip	ポジション数	10	15	25	50	100	150
	必要資産	56,000円	92,000円	178,000円	480,000円	1,460,000円	2,940,000円
30pip	ポジション数	6	10	16	33	66	100
	必要資産	35,000円	62,000円	115,000円	319,000円	968,000円	1,965,000円
50pip	ポジション数	4	6	10	20	40	60
	必要資産	23,000円	38,000円	73,000円	195,000円	590,000円	1,185,000円
100pip	ポジション数	2	3	5	10	20	30
	必要資産	12,000円	20,000円	38,000円	100,000円	300,000円	600,000円
150pip	ポジション数		2	3	6	13	20
	必要資産		14,000円	24,000円	63,000円	199,000円	405,000円
200pip	ポジション数			2	5	10	15
	必要資産			17,000円	53,000円	155,000円	308,000円

## 【資金目安表の見方】

### ■ 想定変動幅

発注範囲(発注する値幅)のことです。保有ポジションに対して、思惑と逆方向に想定変動幅分動くと損切りになります。  
想定変動幅＝発注範囲＝損切り幅

### ■ ポジション間隔

ポジション同士の間隔および利益確定の値幅のことです。

### ■ 必要資産

トラッキングトレードを設定するために必要な資金のことです。

### ■ ポジション数

保有可能なポジションの最大数のことです。

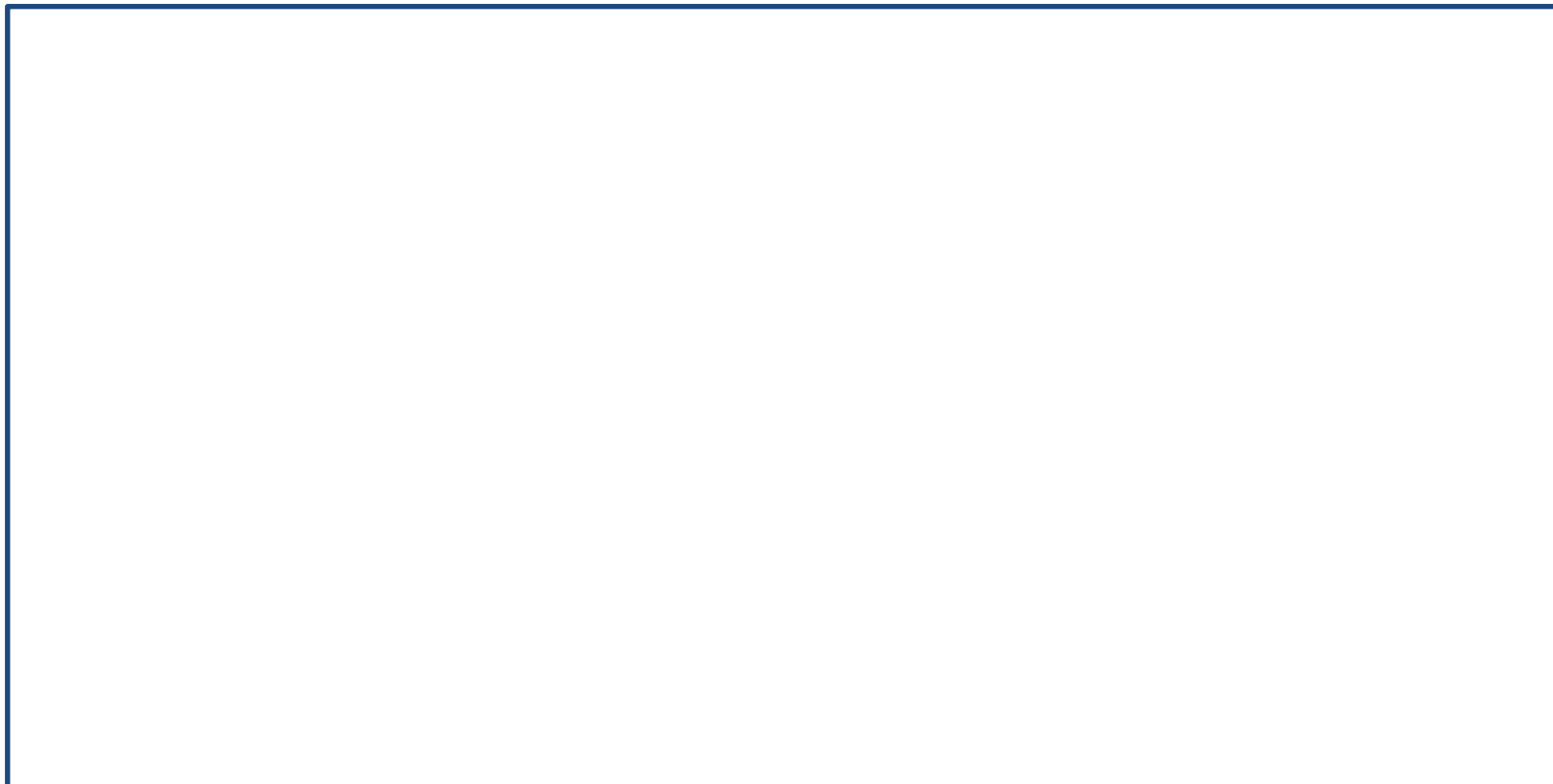
## 【注意事項】

- ・資金目安表の金額は、1ロット＝1,000通貨で取引した際の金額で算出しております。  
また、手数料およびスワップポイントは含まれておりません。  
1ロット＝1万通貨の場合は、必要資金は10倍必要となります。
- ・必要資金は取引証拠金が1ロット(1,000通貨)あたり4,500円で算出しています。  
取引証拠金は1日1回値洗い時毎に算定するため、営業日毎に変動する場合があります。
- ・必要資産は、目安の数値です。
- ・本情報の記載には万全を期しておりますが、当社はその正確性を保証するものではありません。  
本情報は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、記載の金額を推奨するものではありません。  
取引に関する決定はお客様ご自身で判断いただきますようお願いいたします。

## 9.実践編

リアルタイムで相場を見ながら、トラッキングトレードの設定の仕方やコツ、NG、停止の仕方など、質疑応答を交えて解説いたします。

メモ欄



## 取引に関する注意事項

当社(FXブロードネット)が提供する外国為替証拠金取引は、元本および利益が保証された金融商品ではありません。相場変動、金利変動のリスクにより、損失が発生する場合がございます。さらに、レバレッジ効果によりお客様がお預けになった証拠金以上のお取引が可能となる分、証拠金額を上回る損失が発生する可能性があります。取引手数料は、ブロードコースが1ロットあたり片道0円～200円(税込)、ブロードライトコースが1ロットあたり片道0円～20円(税込)となります(詳細は取引要綱詳細をご参照ください)。また、本取引に係る法定帳簿の書面による交付を申し出された場合のみ、書類作成送付手数料(1送付当り2,160円(税込))が必要となります。取引レートには通貨毎に売付価格と買付価格に差額(スプレッド)があります。取引に必要な証拠金額は、各通貨のレートにより決定され、お取引額の4%・5%・100%相当となります。証拠金の約1倍から25倍までのお取引が可能です。(法人のお客様の場合は、当社が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額以上の委託証拠金が必要となります。為替リスク想定比率とは金融商品取引業に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。)倍率は取引コースにより異なります。当社は法令上要求される区分管理方法の信託一本化を整備いたしておりますが、区分管理必要額算出日と追加信託期限に時間差があること等から、いかなる状況でも必ずお客様からお預りした証拠金が全額返還されることを保証するものではありません。ロスカット取引とは、必ず約束した損失の額で限定するというものではありません。通常、あらかじめ約束した損失の水準(以下、「ロスカット水準」といいます。)に達した時点から決済取引の手続きが始まりますので、実際の損失はロスカット水準より大きくなる場合が考えられます。また、ルール通りにロスカット取引が行われた場合であっても、相場の状況によってはお客様よりお預かりした証拠金以上の損失の額が生じることがあります。口座開設の申込みの際には、契約締結前交付書面等を熟読いただき、取引の仕組やリスクについて十分ご理解の上、お客様ご自身の判断と責任においてお取引いただきますようお願い申し上げます。

商号:株式会社FXブロードネット(金融商品取引業者)

登録番号:関東財務局長(金商)第244号

加入協会:一般社団法人 金融先物取引業協会(会員番号:1541)

一般社団法人 日本投資顧問業協会(会員番号:011-01121)